

平成25年5月17日

報道関係者各位

株式会社 共立総合研究所

## 「2013年度 新入社員の意識調査(職業観)」

株式会社 共立総合研究所（岐阜県大垣市郭町 2-25 取締役社長 森秀嗣）は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご案内します。

### 《要約》

#### 職業観について

今年度の注目点：

**男性は「会社に頼りきらない手に職」派が増**  
**女性は「キャリアにもこだわり」派が増**

- 就職先の選択基準  
「業種・事業内容」とともに、「雰囲気・イメージ」も重視
- 将来就きたい地位  
男性は「管理職志向」が1位にとどまるも、「スペシャリスト志向」が再び上昇  
女性は「管理職志向」が「一般職志向」を抜いて初めて2位に浮上
- 上司・先輩との人間関係  
「積極派」が2年ぶりに増える
- 入社の際の不安  
「上司・先輩との人間関係」が3年ぶりに1位に
- 初給与の使い道  
「家族に感謝」が6年連続の1位に

資料配布：大垣市政経済記者クラブ、名古屋金融記者クラブ

【本件に関する問合せ先：共立総合研究所 調査部 いちき 市来 圭 TEL 0584-74-2615】

## 調査概要

当社では、大垣共立銀行がお取引先企業の新入社員向けに開催している研修会の参加者を対象として「新入社員の意識調査」を実施している。今年も、例年と同じく「就職する際の選択基準」や「将来就きたい地位」等の質問を行った。

- (1) 調査対象：岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県所在の企業 295 社の新入社員
- (2) 調査期間：2013 年 3 月 18 日～4 月 8 日
- (3) 調査方法：大垣共立銀行主催の新入社員研修会受講者(1,151 名)に無記名方式で実施
- (4) 有効回答者数：1,121 人（有効回答率 97.4%）
- (5) 回答者属性：

		全体	男性	女性
有効回答者数		1,121名	609名	512名
平均年齢		21.2歳	21.3歳	21.1歳
最終学歴	高校卒業	32.1%	32.9%	31.0%
	専門学校卒業	8.2%	8.6%	7.9%
	短期大学卒業	6.4%	2.6%	11.0%
	四年制大学卒業	48.9%	50.2%	47.3%
	その他	4.4%	5.8%	2.8%
居住地	岐阜県	48.0%	49.2%	46.7%
	愛知県	39.7%	39.4%	40.2%
	三重県	2.7%	2.5%	3.0%
	滋賀県	2.6%	2.7%	2.4%
	その他	6.9%	6.3%	7.7%
業種	建設業	9.2%	9.6%	8.7%
	製造業	39.4%	46.3%	31.2%
	卸売業, 小売業	15.2%	12.5%	18.5%
	医療・福祉	7.1%	3.9%	11.1%
	サービス業	11.1%	10.3%	12.1%
	その他	18.0%	17.5%	18.5%

注：端数を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある(以下同じ)。

# 「職業観について」

## (1) 就職先の選択基準

### ～「業種・事業内容」とともに「雰囲気・イメージ」も重視～

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか（3つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「業種・事業内容」（回答率66.4%）、2位は「雰囲気・イメージ」（同50.1%）、3位は「通勤時間」（同28.8%）となった（図表1）。

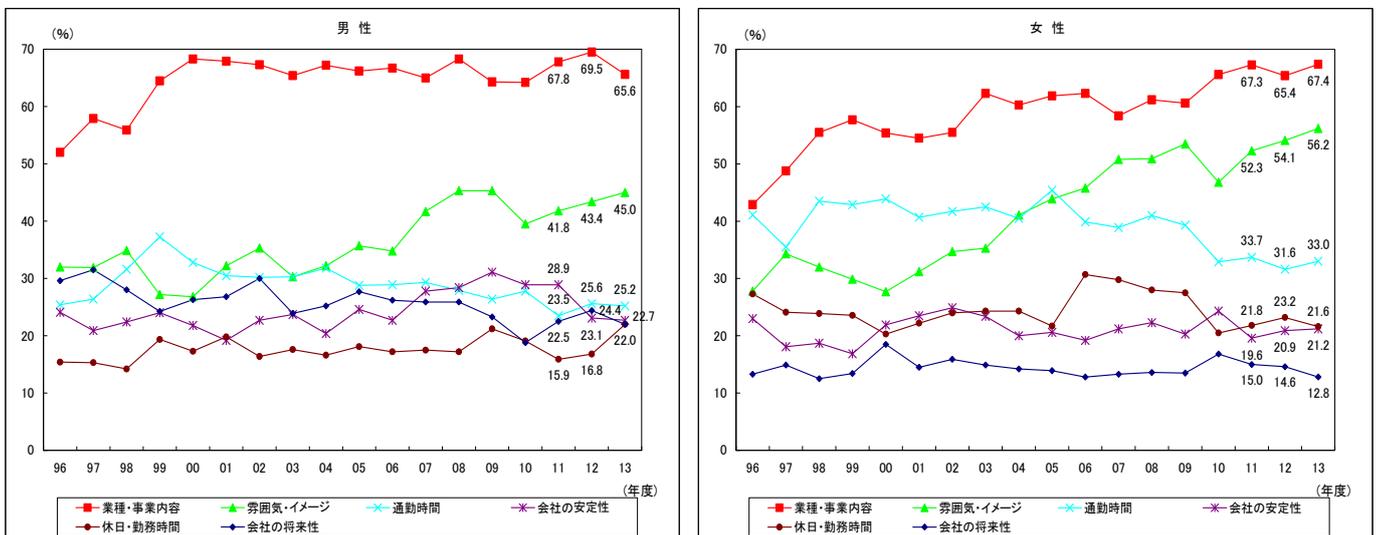
2010年度に一度低下していた「雰囲気・イメージ」が、その後再び重視されるようになり、今年度は過去最高を更新した。「業種・事業内容」に加えて「雰囲気・イメージ」を重視する傾向は調査開始以来、波はあるが強まっている。その理由としては、**インターネットが普及し、会社に関する情報も事業内容だけでなく、その雰囲気やイメージに関する情報が増えているためと考えられる。**また、近年はイメージ戦略を重視し、その様な情報を積極的に出している会社が増えていることも一因と考えられる。男女別にみると、男性では「休日・勤務時間」の伸びが顕著である一方、女性では1位の「業種・事業内容」および、2位の「雰囲気・イメージ」がともに伸びており、過去最高となった。女性については、後述するとおり「管理職」を目指す傾向が高まるなど、女性が活躍できるような職場環境への関心が高まっているのではないと思われる。

図表1：就職先の選択基準

全 体	(単位：%、%ポイント)																		前年度差
	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
業種・事業内容	46.9	52.8	55.7	60.8	61.3	61.2	61.5	63.8	63.8	64.1	64.5	61.9	65.1	62.5	64.7	67.5	67.6	66.4	▲1.2
雰囲気・イメージ	29.6	33.2	33.3	28.7	27.3	31.7	35.0	32.8	36.6	39.7	40.2	46.0	48.0	49.4	42.8	46.6	48.4	50.1	1.7
通勤時間	34.2	31.5	38.2	40.3	38.8	35.6	35.8	36.4	36.1	37.0	34.3	33.8	34.1	32.7	30.1	28.2	28.4	28.8	0.4
会社の安定性	23.5	19.3	20.3	20.1	21.9	21.3	23.7	23.6	20.2	22.6	21.0	24.7	25.5	25.8	26.7	24.6	22.1	22.0	▲0.1
休日・勤務時間	22.1	20.2	19.6	21.7	19.0	21.0	20.1	21.0	20.4	19.9	23.8	23.3	22.4	24.3	19.8	18.6	19.8	21.8	2.0
会社の将来性	20.4	22.2	19.4	18.3	22.1	20.7	23.1	19.4	19.7	20.9	19.6	19.9	20.1	18.5	17.9	19.1	19.9	17.8	▲2.1
親または学校の推薦	24.4	24.3	25.3	20.3	21.0	22.1	19.6	20.0	17.7	16.5	17.6	16.4	15.0	12.8	14.9	13.9	14.9	12.3	▲2.6
給与・ボーナス	15.3	12.5	11.0	9.4	9.5	11.7	11.3	13.9	14.4	10.7	11.8	12.3	12.8	12.1	10.5	11.9	9.9	11.7	1.8
会社の規模	6.8	7.7	6.4	6.7	7.5	6.8	5.9	7.1	7.3	7.1	8.2	9.5	8.2	7.1	7.1	7.7	6.9	7.8	0.9
福利厚生	1.9	1.6	0.6	2.2	1.5	2.1	3.9	2.5	3.6	3.2	3.3	4.4	4.6	5.7	6.3	6.6	5.7	6.8	1.1
他に就職内定先がなかった	12.5	8.6	9.5	11.1	8.6	7.8	7.1	4.8	6.5	5.0	4.8	4.0	3.3	4.5	7.4	7.5	5.1	4.9	▲0.2
会社の知名度	3.6	3.7	2.8	2.2	3.3	3.2	2.3	2.3	2.5	3.2	3.9	3.6	3.8	2.5	2.4	2.6	3.2	2.7	▲0.5
何となく	8.2	8.5	8.8	9.6	7.5	7.0	5.5	5.5	4.4	5.3	4.5	3.9	2.3	3.4	2.2	2.1	1.9	2.7	0.8
アルバイト先だった	1.0	0.8	2.5	0.7	1.8	1.8	2.3	1.4	1.8	2.6	1.5	1.6	1.0	1.1	1.4	1.5	1.7	1.6	▲0.1
その他	3.8	3.6	3.2	3.7	3.6	3.3	4.2	4.7	4.5	2.6	3.0	3.9	3.4	4.0	3.6	3.6	4.0	4.0	0.0

(注1) 網掛けは、各年度において回答率が高かった上位3項目。  
 (注2) 複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

図表2：就職先の選択基準（全体での上位6項目の男女別推移）



## (2) 将来就きたい地位

～男性は「管理職志向」が1位にとどまるも、「スペシャリスト志向」が再び上昇  
 女性は「管理職志向」が「一般職志向」を抜いて初めて2位に浮上～

「あなたは将来どんな地位に就きたいですか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、全体では「肩書きはなくても、特殊能力・技能のある社員（以下：「スペシャリスト志向）」（回答率 43.2%）がトップとなった（図表 3）。また、近年上昇傾向にあった「肩書きのある社員（以下：「管理職志向）」（同 29.0%）を目指す傾向は、今年度は低下した。

男女別にみると、男性ではこれまで上昇傾向にあった「管理職志向」（同 39.8%）が今年度は下がったが1位にとどまり、2位「スペシャリスト志向」（同 32.5%）が再び上がって来た。女性は例年と同じく「スペシャリスト志向」（同 55.9%）が圧倒的に強かったが、**2009年度以来上がり続けている女性の「管理職志向」（同 16.1%）が今年度も上がり、初めて「肩書きはいらぬ（以下：「一般社員志向）」（同 15.9%）を抜いて2位となった**（図表 4）。

アベノミクスの成長戦略でも「女性の活躍」が重要項目の一つに挙げられるなど、女性の社会進出が広く社会的にも期待されており、実際に閣僚や知事、会社役員などで活躍する女性も増えてきていることを見て、女性新入社員の「管理職志向」が高まっているのではないかと考えられる。

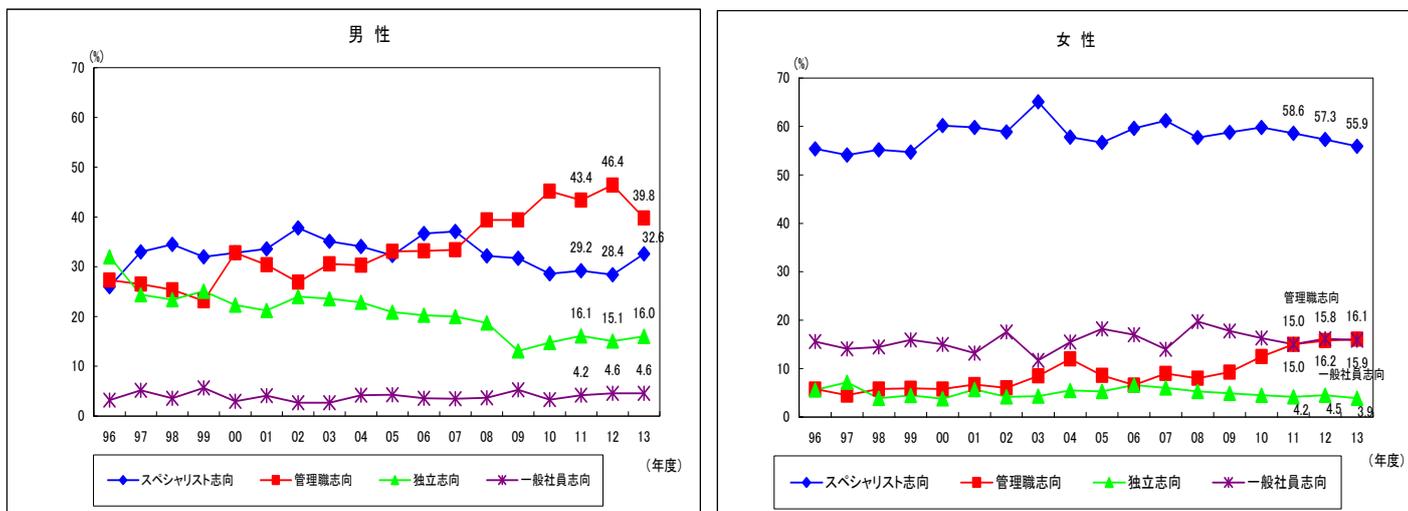
図表 3：将来就きたい地位（全体）

(単位：％、％ポイント)

全 体	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	前年度差
スペシャリスト志向	42.5	44.9	46.0	44.4	47.7	46.7	48.2	50.2	45.9	44.3	47.9	48.5	44.3	45.0	42.7	42.6	41.9	43.2	1.3
管理職志向	15.2	14.1	14.5	13.7	18.1	18.6	16.6	19.5	21.2	21.1	20.2	21.8	24.6	24.6	30.4	30.4	32.2	29.0	▲3.2
独立志向	17.2	14.6	12.6	13.8	12.2	13.5	14.2	13.8	14.3	13.3	13.6	13.3	12.3	9.0	10.1	10.7	10.2	10.5	0.3
一般社員志向	10.2	10.2	9.7	11.3	9.5	8.7	10.1	7.2	9.8	11.1	10.1	8.5	11.3	11.4	9.2	9.1	10.0	9.9	▲0.1
わからない	13.1	15.1	15.8	15.6	11.4	12.0	9.9	7.4	7.6	9.5	7.7	7.3	7.3	9.3	7.1	6.6	5.6	6.8	1.2
その他	1.8	1.1	1.4	1.1	1.1	0.6	1.0	1.9	1.2	0.7	0.5	0.5	0.2	0.7	0.5	0.5	0.2	0.6	0.4

(注) スペシャリスト志向…肩書きはなくても、特殊能力・技能のある社員  
 管理職志向…肩書きのある社員  
 独立志向…社長、あるいは独立して自分の会社・店を持つ  
 一般社員志向…肩書きはいらぬ

図表 4：将来就きたい地位（男女別推移）



### (3) 上司・先輩との人間関係

#### ～「積極派」が2年ぶりに増える～

「上司・先輩との人間関係をどのように考えていますか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、全体では「公私にわたって積極的に（以下：積極派）」（回答率 48.9%）が「義理を欠かない程度（以下：ほどほど派）」（同 44.5%）を再び上回った（図表 5）。

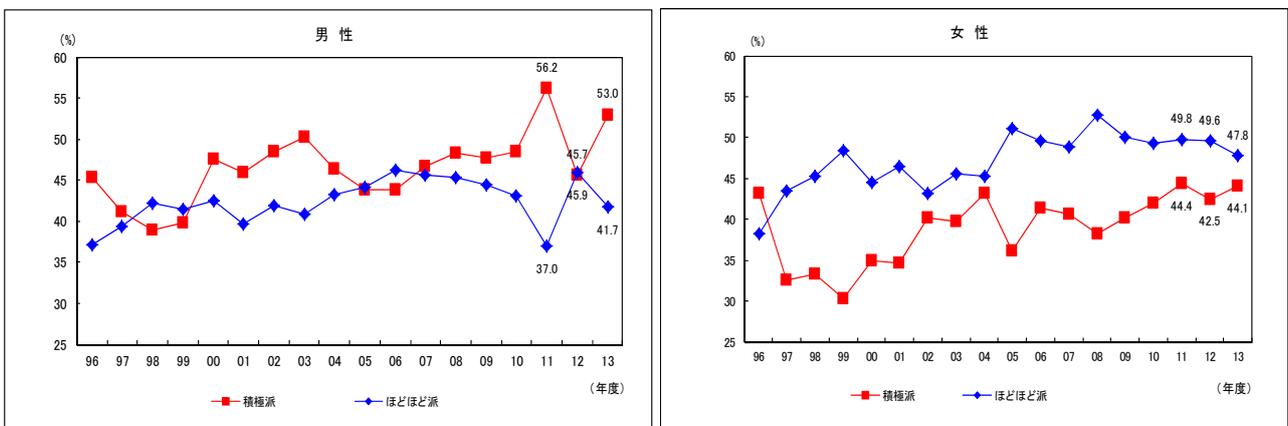
男女別に見ても、男性は昨年度大きく低下した「積極派」が再び上昇し、女性も「積極派」が上昇し、**男女とも近年の「積極派」増加の傾向が戻ってきている。**女性については、「管理職志向」が高まってきたことも会社の人間関係への積極派の増加の一因と思われる（図表 6）。

図表 5：上司・先輩との人間関係

(単位：%、%ポイント)

全 体	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	前年度差
公私にわたって積極的に付き合いたい	44.2	36.4	35.8	34.6	40.7	40.3	44.4	44.9	44.7	40.0	42.7	43.9	43.5	44.0	45.5	50.8	44.2	48.9	4.7
義理を欠かない程度に付き合いたい	37.8	41.6	43.9	45.3	43.6	43.0	42.5	43.2	44.3	47.5	47.9	47.2	48.9	47.3	45.9	42.9	47.6	44.5	▲ 3.1
わからない	11.1	14.8	13.2	12.1	9.5	12.0	8.4	6.6	6.8	8.0	5.2	4.8	3.5	4.0	4.2	3.8	4.3	3.8	▲ 0.5
仕事以外はなるべく付き合いたくない	6.0	6.1	5.8	6.2	5.6	3.7	4.2	4.3	3.3	4.1	4.0	4.0	3.7	4.1	3.8	2.1	3.6	2.5	1.5
その他	0.9	1.1	1.3	1.8	0.6	0.9	0.5	0.9	0.9	0.3	0.3	0.2	0.3	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	▲ 0.1

図表 6：上司・先輩との人間関係（男女別推移）



#### (4) 入社の際の不安

##### ～「上司・先輩との人間関係」が3年ぶりに1位～

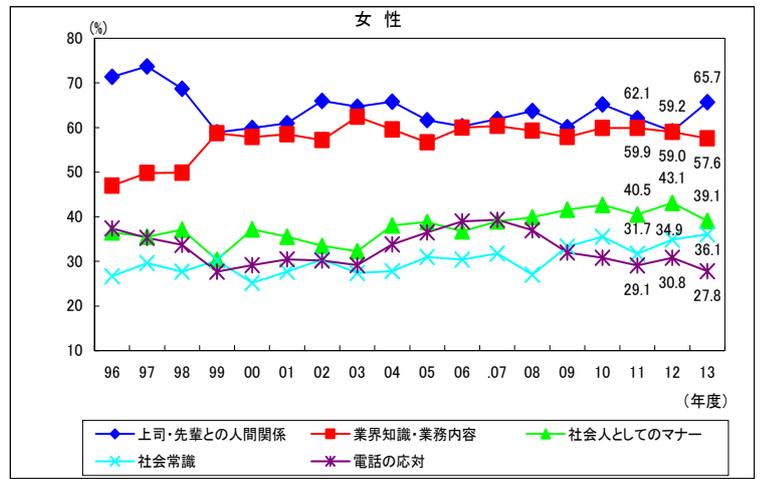
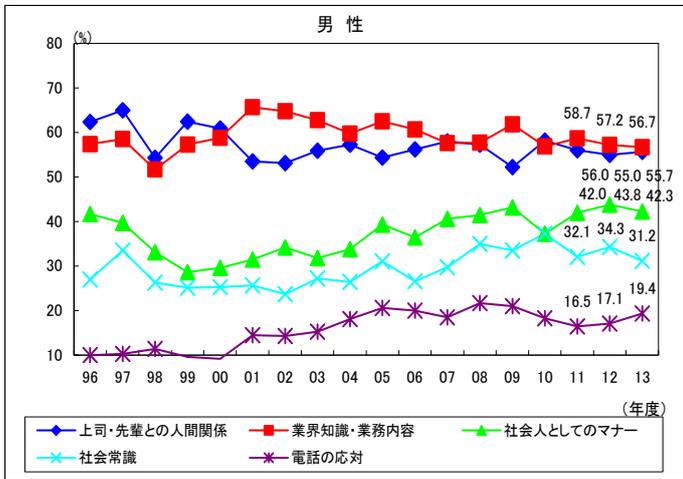
「入社にあたって不安に思うことは何ですか（3つまで選択）」と尋ねたところ、全体では「上司・先輩との人間関係」（回答率 60.3%）が上昇し、3年ぶりに1位になった（図表7）。次いで、「業界知識・業務内容」（同 57.1%）が2位、以下、「社会人としてのマナー」（同 40.8%）、「社会常識」（同 33.4%）、「電話の応対」（同 23.2%）と続く上位5項目は例年と変わらなかった。

男女別にみても、順位は入れ替わっているが、全体での上位2つの項目が1、2位を占めている。3位以下についても例年通りの順位となっている（図表8）。

図表7：入社の際の不安（全体）

全 体	(単位：%、%ポイント)																			
	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	前年度差	
上司・先輩との人間関係	67.5	69.9	62.3	60.5	60.4	57.2	59.5	60.3	61.5	58.0	58.2	59.8	60.7	56.1	61.4	58.8	56.9	60.3	3.4	
業界知識・業務内容	51.6	53.7	50.7	58.1	58.3	62.1	61.0	62.6	59.7	59.6	60.4	58.9	58.8	59.9	58.2	59.2	58.0	57.1	▲ 0.9	
社会人としてのマナー	38.8	37.3	35.3	29.6	33.7	33.5	33.9	32.0	35.9	39.1	36.7	39.9	41.0	42.4	39.8	41.3	43.5	40.8	▲ 2.7	
社会常識	26.8	31.3	27.1	27.9	25.3	26.7	27.1	27.3	27.1	31.0	28.5	30.8	31.3	33.4	36.4	31.9	34.6	33.4	▲ 1.2	
電話の応対	25.4	24.3	23.7	19.5	20.1	22.5	22.1	22.3	25.9	28.4	29.3	28.4	29.1	26.4	24.0	22.3	23.4	23.2	▲ 0.2	
機械の使い方	-	-	11.6	12.8	11.9	12.3	15.1	12.2	13.2	12.5	14.1	15.5	13.6	14.5	15.5	15.7	16.2	18.0	1.8	
規則的な生活	13.7	17.4	14.5	14.4	16.0	16.6	14.6	16.7	13.8	13.2	13.5	13.2	15.5	12.0	14.5	17.2	14.0	14.6	0.6	
同僚との人間関係	16.6	15.0	20.0	13.8	13.8	13.6	12.2	11.8	11.5	12.8	15.2	12.3	13.8	13.4	10.3	11.5	12.1	13.2	1.1	
健康	-	-	10.5	15.5	15.1	17.8	17.2	17.8	13.7	11.9	11.2	12.8	10.5	12.0	10.5	8.9	9.8	7.6	▲ 2.2	
OA機器の使い方	9.3	11.0	7.7	10.0	9.5	7.6	7.4	5.4	5.9	5.1	5.6	5.9	4.0	3.8	3.5	3.2	2.6	3.5	0.9	
その他	2.9	2.4	2.3	2.7	2.3	2.0	1.9	2.2	2.6	1.6	1.7	1.3	1.3	1.4	0.7	2.6	1.1	2.0	0.9	

図表8：入社の際の不安（全体での上位5項目の男女別推移）



## (5) 初給与の使い道

### ～「家族に感謝」が6年連続の1位～

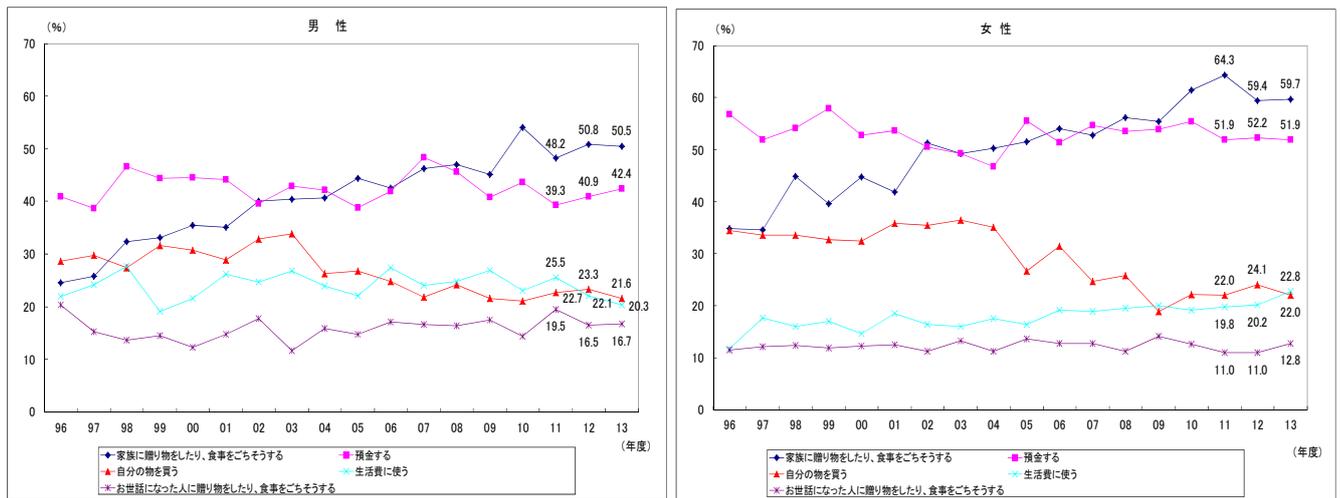
「初給与は、どのように使いますか（2つまで選択）」と尋ねたところ、「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする（以下：家族に感謝）」（回答率54.7%）が6年連続の1位となり、次いで「預金する」（同46.7%）という結果になった（図表9）。男女別に見ても、傾向に大きな違いはなかった。

図表9：初給与の使い道

(単位：％、％ポイント)

全体	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	前年度差
家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする	30.3	30.7	39.2	36.7	40.5	38.5	45.6	44.8	45.5	47.9	48.1	49.4	51.4	50.1	57.4	55.6	54.8	54.7	▲0.1
預金する	49.8	46.2	50.8	51.7	49.0	48.8	45.0	46.1	44.4	47.0	46.6	51.4	49.4	47.3	49.1	45.1	46.1	46.7	0.6
自分の物を買う	31.9	31.9	30.9	32.2	31.7	32.3	34.1	35.2	30.6	26.7	28.1	23.2	25.0	20.3	21.6	22.4	23.7	21.8	▲1.9
生活費に使う	16.2	20.5	21.2	18.0	17.8	22.3	20.6	21.4	20.8	19.3	23.3	21.6	22.3	23.5	21.2	22.9	21.2	21.4	0.2
お世話になった人に贈り物をしたり、食事をごちそうする	15.4	13.4	12.9	13.1	12.3	13.6	14.5	12.4	13.6	14.2	14.9	14.8	14.0	15.8	13.6	15.6	13.9	14.9	1.0
友達との交際費に使う	14.0	14.0	13.8	12.5	12.0	10.2	9.4	9.7	9.9	11.1	10.5	8.3	8.6	9.3	6.0	7.2	6.4	6.6	0.2
考えていない	6.1	6.6	5.9	7.3	8.2	6.7	5.5	5.5	6.1	5.6	3.7	4.8	3.7	5.8	5.8	4.3	5.3	4.8	▲0.5
その他	4.6	4.4	3.4	3.8	2.8	2.4	3.1	2.9	3.1	2.4	1.2	2.3	1.9	1.7	1.5	2.3	1.9	1.2	▲0.7
旅行・レジャーに使う	6.8	5.2	4.7	3.7	2.5	2.4	2.3	2.0	2.8	2.4	2.9	2.5	1.9	2.3	1.3	2.3	1.9	2.3	0.4

図表10：初給与の使い道（全体での上位5項目の男女別推移）



## (6) まとめ

今回の調査では、就職先においては上司・先輩との人間関係を積極的に築く一方、家族や周囲の人々を大切にしようとする**会社の内でも外でも人間関係を大切にする**傾向がうかがえた。

さらに、将来就きたい地位において、男性では「管理職志向」が1位にとどまるも回答率が減るとともに、スペシャリスト志向が増えており、**会社に頼るだけではなく、手に職をつけようとする男性が増えている**ことがうかがえた。

一方、女性においては、「スペシャリスト志向」が圧倒的な中で「管理職志向」や会社での人間関係に「積極的」な傾向が強まっていることから、**会社において中心となって活躍することを目指す女性が出てきている**こともうかがえた。

以上

資料の一部に誤りがありましたので、7月1日に以下のとおり訂正いたしました。

## 記

### 訂正箇所および内容

① 4 ページ 「(2) 将来就きたい地位」11行目

「肩書きはிரない(以下:「一般社員志向」)」(~~16.0%~~) → (15.9%)

同ページに掲載されたグラフの該当部分も同様に訂正いたしました。

以上